

# 2019 年度 事業計画

一般社団法人横浜みなとみらい21

# 2019年度 事業計画

2019年4月1日から2020年3月31日まで

当社は、2009（平成21）年度の事業開始以降、会員の皆様とともに地区全体としてエリアマネジメント活動を実践しており、街づくり調整や地区プロモーションなどを着実に推進してまいりました。今後も、地区の現況と課題等にしっかりとアンテナを張りながら、当地区の更なる発展に向けて、会員の皆様とともに「街づくり・育てる」取組を遂行してまいります。

## 1 事業構成

- (1) エリアマネジメント推進事業
  - ア 街づくり調整事業
  - イ 環境対策事業
  - ウ 文化・プロモーション事業
  - エ その他事業（会員交流事業）
- (2) 横浜都心電波対策事業
- (3) 広告・イベントスペース等運用事業

## 2 社員総会及び理事会の開催

- (1) 社員総会：定時社員総会（6月）
- (2) 理事会の開催：定例理事会（6月、11月、3月）

## 3 事業概要（詳細は次頁以降に記載しています。）

2019年度は「街づくり調整」、「環境対策」、「インバウンド対応」を重点分野とします。

「街づくり調整」：「みなとみらい21地区都市再生安全確保計画」を踏まえ、帰宅困難者対策や情報受伝達体制の強化などについて、防災エリマ推進委員会を中心に進めます。

また、街区開発の急速な進展や大規模集客施設の複数立地といった、街の現況と将来像を踏まえた総合的な街づくり調整を進めます。

「環境対策」：「環境未来都市」や「SDGs 未来都市」、「イノベーション都市・横浜」等の施策を踏まえながら、関係者と連携して、スマートなまちづくりの実現に向けた取組を推進します。水環境向上では、自動車「実験場」を拡張して一步進んだ実証実験の展開を進め、『緑・花』推進では、2018（平成30）年度に取りまとめた、今後の目標及び推進方策を踏まえ、『緑・花』の充実に向けた取組を進めます。

「インバウンド対応」：2019年以降に開催される国際的な会議・イベントを見据え、「みなとみらい21ツーリストインフォメーションセンター」の新設など、訪日外国人のホスピタリティ向上に資する取組を一層進めるとともに、英語版ウェブサイトのコンテンツ拡充に取り組むなど、さらなるインバウンド対応の充実を進めます。

そのほかにも、夏季の会員交流事業を新たに企画するなどの、会員交流の一層の促進につながる取組や、横浜都心電波対策事業の適切な実施、広告・イベントスペース等運用における収益の向上など、幅広い分野において、会員の皆様のニーズを踏まえながら、積極的な事業を展開してまいります。

## 街づくり調整事業

29,750 千円

時代の変化に適応した街づくりを進めていくため、みなとみらい21地区全体の街づくりの方向性を議論し、共有化を図り、対応策を検討し実施します。また、取組内容の情報発信にも取り組みます。

## 安全・安心な街づくり

みなとみらい21地区における地震対策の推進

8,000 千円

【 企画調整部・総務部 】

東日本大震災以降、防災対策の重要性が高まっていることを踏まえ、みなとみらい21地区の災害に強い街としての強みに加え、エリアマネジメントを推進しているという特徴を活かして、地区内関係者が連携する『共助』の取組を進め、災害に対してより強靱で『安全・安心な街』の実現を目指します。

2019年度は、引き続き「みなとみらい21防災エリアマネ推進委員会」において検討を進め、『都市再生安全確保計画』を踏まえ、帰宅困難者対策や情報受伝達体制の強化等を進めます。

### 帰宅困難者受入対策等の推進

帰宅困難者を受け入れる当地区独自の仕組みである『帰宅困難者一時滞在施設登録制度』について、横浜市と緊密に連携を図りながら運用を進め、登録施設の拡充や地区内事業所の一斉帰宅の抑制等を図ります。

### 情報受伝達体制の強化

災害時の地区内の各施設や行政機関等を連絡する情報受伝達体制の強化に向け、引き続き、複数の伝達手段の確保に向けた検討を進めます。

このうち、横浜みなとみらい21のホームページに開設している『会員用災害時掲示板』については、システム改良を進め、2018（H30）年度に情報受伝達訓練を実施した上で本格運用を行っています。2019年度は更なる改良・訓練を行いながら、普及・定着を図ります。

### 災害時行動ガイド及び帰宅困難者支援ガイドの更新・発行

災害時の情報受伝達や帰宅困難者対応のマニュアルとして取りまとめた『災害時行動ガイド』の運用・周知を図るとともに、より充実した内容とするための更新を図ります。

また、一般向けの帰宅困難者支援ガイド（防災マップ）についても、外国語表記（4カ国語）を行い、更新・発行します。



< 災害時行動ガイドと帰宅困難者支援ガイド >

### 合同防災訓練、防災講演会等の実施

災害発生時に地区全体で協力し合う意識を高めるとともに、防災エリマネ推進委員会の活動と連動、検討成果を反映しながら、地区内就業者や住民の参加による合同防災訓練を実施します。

また、意識啓発のための防災講演会等を引き続き実施します。

#### < 参考：訓練内容 >

- ・ 情報受伝達訓練（含会員用災害時掲示板）
- ・ 津波避難訓練
- ・ 帰宅困難者受入訓練
- ・ 負傷者搬送及び応急手当訓練
- ・ 車いす乗車体験及び車いす搬送訓練
- ・ 災害用地下給水タンク操作訓練
- ・ 消火器訓練
- ・ 起震車体験
- ・ 煙通路体験



< 帰宅困難者受入訓練 >

## 来街者の利便性・快適性向上に向けた街づくり

### みなとみらい21街づくり状況の各種調査

5,500 千円

#### 【 企画調整部 】

来街者調査や進出企業調査等を継続的に実施し、エリアマネジメント活動の基礎資料とします。調査にあたって、社会情勢にあわせた諸条件の見直しのための調査も行います。

今後のエリアマネジメントのあり方の検討も含む。（説明は環境対策事業で記述）

### みなとみらい21地区における交通対策等の検討

2,500 千円

#### 【 企画調整部 】

2018（H30）年度には、街区開発の急速な進展や大規模集客施設の立地計画等を踏まえ、横浜市と連携して、歩行者の将来交通量推計調査を実施し、対応方策の検討を進めました。

2019 年も引き続き、安全で快適な歩行者環境を確保するための課題整理、必要な対応策等の検討を進めます。また、バス交通や駐車場等も含む、地区内の利便性、回遊性向上に向けた交通対策の検討を行います。

さらに、キング軸基部のJR貨物線の上部利用について、沿線事業者、JR東日本、横浜市等関係者と協議・調整を行い、周辺地区の環境改善及び歩行者ネットワークの機能向上に向けた取組を進めます。

### 駐車場案内システム協議会の運営

#### 【 企画調整部 】

2018（H30）年度に引き続き、駐車場案内システムの運用を進めるとともに、協議会への参画を推進します。

## 街づくりの誘導・調整、情報発信

### みなとみらい21街づくり基本協定の運営【中央地区】

3,500千円

#### 【企画調整部】

みなとみらい21中央地区の地権者間等で定めた土地利用、建物・屋外空間計画等の街づくりに関するルールである「街づくり基本協定」を運営し、その基本的な考えを共有するとともに、より魅力ある調和のとれた街づくりを進めます。

また、基本協定の見直しにも着手し、戦略的な街づくりを進めるための方策について、多岐・多様なテーマに優先順位をつけながら検討を行います。

### 「みなとみらい21インフォメーション」等の改訂

3,000千円

#### 【企画調整部】

企業誘致や様々な視察対応等に備え、当地区の計画概要等をまとめた「みなとみらい21インフォメーション(冊子)」等を制作します。インフォメーションを2015(H27)年度に、映像を2016(H28)年度に大幅に刷新していますが、2019年度は冊子の改訂を行うほか、マスタープランのデータ更新等を行います。

### 街づくり調整委員会(部会)の開催

100千円

#### 【企画調整部】

新港地区、中央地区、横浜駅東口地区それぞれの開発の経緯や背景等の地区特性を尊重し、街づくりの方向性や課題、その対応策を検討する場として、街づくり調整委員会及び街づくり調整部会を開催します。

### 全国エリアマネジメントネットワークへの参画

400千円

#### 【企画調整部・事業推進部・総務部】

2016(H28)年度に発足した全国エリアマネジメントネットワークの諸活動に参画するとともに、全国の各団体と交流を図るなど、エリアマネジメント活動を進化させます。

### 【新規】地区内活動等支援事業

4,750千円

#### 【総務部・事業推進部】

「エリアマネジメント活動助成事業」は、10年間の事業期間にて一定の成果を上げてきましたが、10年という節目と、横浜市の「公益信託みなとみらい21まちづくりトラスト」の創設を機として、終了することといたしました。

これを受けて、当社団として前事業の理念を継承しながら、新たに「地区内活動等支援事業」を展開します。

2019年度は、「公益信託みなとみらい21まちづくりトラスト」に関する取組(サポート事業)を始め、みなとみらい21地区内における活動への支援を行っていくほか、「エリアマネジメント活動助成事業」の10年間の成果をまとめた報告書の作成や、2018(H30)年度に採択した助成団体による、活動成果報告会などの取組を行います。

## みなとみらい2 1地区の土地の公募業務

土地公募業務

2,000 千円

【 企画調整部 】

当地区における横浜市所有の土地について、横浜市から開発事業者公募の業務を受託するとともに、誘致促進に向けた開発事業者への募集説明会の開催等を行います。

## 環境対策事業

28,600 千円

みなとみらい21地区における業務・商業活動等を通じて、地球温暖化対策、循環型社会形成、生物多様性といったさまざまな環境問題に関し、ハード面からソフト面まで幅広く多様な活動を展開し、スマートなまちづくりの実現に向けた取組を推進します。

### スマートなまちづくりの実現に向けた取組

これまでの「環境未来都市」、さらに新たな展開を図る「SDGs 未来都市」や「イノベーション都市・横浜」等の横浜市の施策を踏まえながら、区内関係者や行政、大学・研究機関などと連携して、スマートなまちづくりの実現に向け、先進的・意欲的な取組を推進します。

また、この地区における各種取組について、積極的に情報発信を行います。

#### みなとみらい2050 プロジェクト等の推進

5,500 千円

##### 【 企画調整部 】

みなとみらい2050 プロジェクト・アクションプラン等を踏まえ、区内関係者や行政・大学等の関係者と連携した取組を進めます。また、企業本社、研究開発拠点や大学等の集積状況を踏まえ、関係者とのネットワークを強化し、2018（H30）年度に引き続き、フューチャーセンター（情報発信拠点）やオープンイノベーションのあり方等について、ワークショップなどを開催しながら検討を進めます。さらに、街区開発が最終局面を迎えつつあることを踏まえ、みなとみらい21地区のさらなる魅力、価値を創造していくためのエリアマネジメントのあり方について検討を進めます。

#### 水環境向上及び生物多様性に関する取組

7,500 千円

##### 【 企画調整部 】

汽船道沿い護岸の「実験場」における「水環境向上及び生物多様性」に関する実証実験の3カ年半の成果及び課題を踏まえ、2017（H29）年度に学識経験者・区内関係者等も交えて新たな展開方策の検討を進めました。2018（H30）年度はその検討を踏まえ、汽船道「実験場」を拡張して覆砂やアマモ・アサリ等育成方法の改良を行うとともに、ノリの養殖実験を開始しました。さらに、区内関係者や活動団体・学校等と連携した観察会や報告会等を開催し、広く情報発信を行いました。

2019年度は、引き続き、アマモ・アサリ・ノリの育成状況の観察と改善を図りながら、Webカメラ等の本格的なネット配信の実施、ワークショップ、観察会・報告会の開催等、海に面する当地区の魅力を積極的に発信しながらこの新たな取組のさらなる展開を図ります。



< 水環境向上・生物多様性観察会 >

## 『緑・花』推進に関する取組

9,000 千円

### 【 企画調整部 】

みなとみらい21地区における『緑・花』をさらに充実させるために、2018（H30）年度に横浜市と連携して現況調査を実施するとともに、今後の『緑・花』推進の目標及び推進方策のとりまとめを行いました。これを踏まえ、2019年度は、桜木町駅前広場など歩行者が多い場所での『緑・花』を増やす取組の充実を図るとともに、『ガーデンネックレス横浜』と連動して『緑・花』への関心を高めるためのイベント等を横浜市と連携して実施します。



< まちかどの緑：横浜美術館横 >



< まちかど花壇 クイーンモール橋 >

## 環境意識の啓発に向けた取組

### 身近なエコ活動の実施、検討

6,500 千円

### 【 企画調整部 】

みなとみらい21地区ならではの特色があり、多くの会員が参加できるイベント等の各種活動を展開します。

2019年度は、引き続き「アースアワー」への参加によるライトダウン活動や会員企業が身近に取り組める活動を推進するなど、環境意識の向上を図ります。

### 環境対策委員会（部会）の開催

100 千円

### 【 企画調整部 】

当地区の環境対策（地球温暖化対策等）を議論し、課題への対応などを検討する場として、環境対策委員会及び環境対策部会を開催します。

### 地区内の清掃活動の実施

### 【 事業推進部 】

当社団が事務局となり、周辺事業者及び住民等の参加を得て毎月3か所で、次のとおり、定期清掃活動を実施します。

活動主体	清掃箇所	実施日	参加者	制度
桜木町駅前広場活性化委員会	桜木町駅前広場	第1水曜日	約20名	ハマロード・サポーター
新港地区賑わいづくり委員会	運河パーク、カップヌードルミュージアムパーク、赤レンガパーク	第2水曜日	約30名	みなとみどりサポーター
グランモール公園愛護会	グランモール公園	第3火曜日	約130名	公園愛護会



< グランモール公園での定期清掃 >

## 文化・プロモーション事業

54,590 千円

みなとみらい21地区の状況や地区内で行われている活動等について、地区内外に情報発信すると共に、地区内の賑わい創出を促進し、街のイメージや魅力の向上を図ります。

## まちの魅力発信

### インバウンド（訪日外国人）対応

9,000 千円

#### 【 事業推進部 】

2019年度以降に開催される「第7回アフリカ開発会議」、「ラグビーワールドカップ2019」、「東京2020オリンピック・パラリンピック」などの国際的な会議・イベントを見据え、シンクタンクのコンサルティングのもと、ホスピタリティ向上を目指した施策として以下のアクションプランを実施して参ります。

みなとみらい21地区のPR活動、情報発信・インバウンド対応拠点として、みなとみらい21 ツーリストインフォメーションセンター（TIC）の新設を推進

外国人を対象としたアンケート調査

インバウンド対応ホスピタリティ研修

MICE 施設を核としたアフターコンベンション、ユニークベニュー等集客・

回遊シナジー施策・仕組みの開発

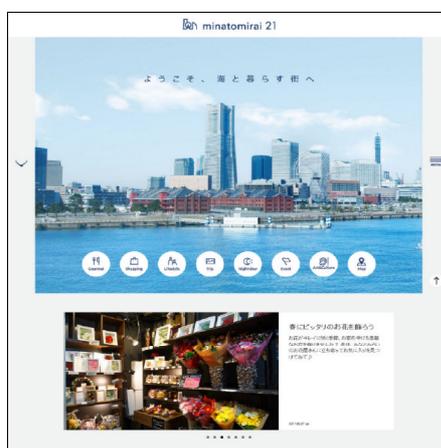
### ウェブによる情報発信

8,250 千円

#### 【 事業推進部・企画調整部 】

主要な情報発信ツールとして定着してきた「みなとみらい21公式ウェブサイト」について、今年度もアクセス分析などを行いながら、改善を継続していきます。同じく「YOKOHAMA MINATOMIRAI GUIDE アプリ」の内容強化も継続し、利用者数の増加を促進します。

「みなとみらい21地区街づくりサイト」については、主として域内の建物や設備、エリアマネジメント助成等の情報を充実させて参りましたが、本年度も更に街全体の魅力を情報発信すべく記事更新のみならず全体的な質の改善を図ります。「インバウンドサイト」では、本年以降に開催される国際的な会議・イベントに対応するため、コンテンツの拡充も含めて、随時内容のブラッシュアップを行っていきます。



< みなとみらい21公式ウェブサイト >



< GUIDE アプリ >



< みなとみらい21公式インバウンドサイト >

## 広報誌による情報発信

6,000 千円

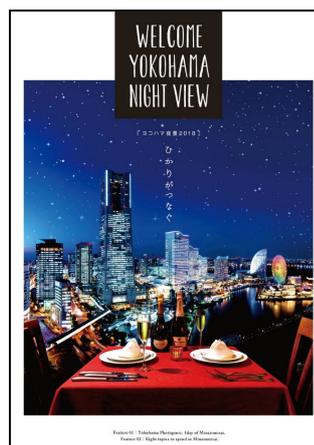
### 【 事業推進部 】

・ 社団タイアップページの作成

2019 年度も、街のフリーマガジン『mirea (ミレア)』（「みなとみらい 21 S P 推進委員会」にて制作費一部負担）のページを活用して、地区内の施設やエリアでの過ごし方などの情報を発信します。



< フリーペーパー mirea >



( mirea 特別編集版 )

## PR活動の実施

1,600 千円

### 【 事業推進部 】

2019 年度も広域からの来街誘引を図るべく、主要鉄道会社・交通機関の協力のもと、ポスター・チラシ等による広報 PR、情報発信をしていきます。特にボリュームゾーンである都内を中心とする交通系メディアの活用に取り組みしていきます。また、メディア向けにリリース配信会社を通じて、みなとみらい21 地区のイベント情報のリリースを配信する。

## 地区プロモーションの調整

6,000 千円

### 【 事業推進部 】

当団体は地区プロモーション活動の一環として 2009 ( H21 ) 年 3 月発足以来「みなとみらい 21 S P 推進委員会」へ参画して参りました。その中で「みなとみらい地区の多様な集客施設の面的な訴求」、「集客エリアとしてのみなとみらい地区の競争力維持・向上」という当初の目的はほぼ達せられた一方、当地区の開発進行に伴い新たな企業が増え、コストの管理・考え方の変化が進み、制度や会の見直しの必要性も生じています。

2019 年度も同委員会に参画しつつ、より効果的な P R 活動を行う仕組みについて会員皆様の意見を踏まえ見直しも図っていきます。

## 公共空間の利活用

10,600 千円

### 【 事業推進部 】

2013(H25)年度に発足した「みなとみらい21公共空間活用委員会」により、公開空地、有効空地、桜木町駅前広場及びグランモール公園でのオープンカフェや各種イベントを実施していきます。2016(H28)年度から実施しているマルシェ「みなとみらい縁市」を継続実施してさらなる集客を図るほか、2018(H30)年度に実施した野菜販売とキッチンカーによるマルシェの実績を踏まえながら、グランモール公園の賑わいを創出していきます。

また、ストリートミュージシャンに演奏の場を提供する取組「みなとみらい STREET MUSIC」では、出演者の公募によりさまざまなジャンルの演奏者を発掘していくとともに、出演者自らが運営する方法を推進しながら、演奏の機会を増やしていきます。



< みなとみらい縁市 >



< みなとみらい STREET MUSIC >

## 地区イベントの開催

11,000 千円

### 【 事業推進部 】

毎年恒例の「ヨコハマ大道芸」への参画を始め、春の「さくらフェスタ」、「グランモール公園夏祭り」、夏の「大盆踊り」に引き続き参画し、地区内の季節の風物詩としての定着を支援します。冬季には、地区内を広域に光で繋ぐイルミネーション企画「ヨコハマミライト」に参画するとともに、今回23回目を迎える「TOWERS Milight ~オフィス全館ライトアップ~」について、参加施設と協議しながら実施します。

その他、当地区内各エリアでの賑わい創出のため、地区の魅力発信に大きな効果を持つ各種イベントへの参画や、桜木町駅前広場活性化委員会、新港地区賑わいづくり委員会への参画などを積極的に進めます。



< ヨコハマ大道芸 2018 in みなとみらい21 >



< TOWERS Milight ~オフィス全館ライトアップ >

## その他

### 文化・プロモーション委員会等の運営

400 千円

#### 【 事業推進部 】

- ・「文化プロモーション委員会」

当地区のPRや公共空間利活用等の事業に関する情報共有や意見交換を目的として、年2回開催します。

- ・「イベント連絡会」

商業施設、ホテル、文化施設など、地区内の各集客施設が情報を共有し、相互連携を図るための場として、毎月1回、イベント連絡会を開催します。

- ・「インフォメーション担当者意見交換会」

施設の案内受付担当者が、情報交換を行うための場として、定期的にインフォメーション担当者意見交換会を開催しています。昨年度は参加施設が増加して、より情報交換が活発化しており、2019年度もインバウンド動向等を中心に更に有意義な場となるよう対応していきます。

### ガイドマップの制作

1,240 千円

#### 【 事業推進部 】

新規施設の動向を踏まえ、7月頃を目途に改訂版「みなとみらい21地区ガイドマップ62版」を制作します。

### 歩行者案内地図サインの更新

500 千円

#### 【 総務部 】

当地区内に設置されている歩行者案内地図サインのうち、当社団が更新を担当する9基について、新規施設等の情報更新を行います。

## 会員交流事業

9,100 千円

会員相互の交流を促進し、新たなネットワークやエリアマネジメント活動を活性化するための取組を実施します。また、会員や就業者等の声を聴取し、エリアマネジメント活動に役立てていきます。

## 地区内情報等の提供

100 千円

### 【 総務部 】

地区内で行われるイベントやそれにとまなう交通規制、各種工事、防災・防犯、行政機関からの情報など、みなとみらい21地区に関連する様々な情報を会員及び施設設置者連絡会の参加企業に随時提供します。

また、必要に応じて地区内全体への周知を行うため、施設設置者連絡会を開催し、より詳細な情報等を提供します。

## 会員相互交流の機会の創出

3,500 千円

### 【 総務部 】

会員企業・団体のネットワーク形成や職員間の交流促進を図ることを目的に、「横浜みなとみらい21 賀詞交換会」(1月)や「救命講習会」(11月頃)を実施するほか、夏季に新たな会員交流会を実施します。



< みなとみらい21 賀詞交換会の様子 >

## みなとみらいかもめ SCHOOL

5,500 千円

### 【 事業推進部 】

みなとみらい21地区内の就業者を対象として、春学期(4~6月)と秋学期(9~11月)の年2回、就業後の時間帯に手軽に学べる場を提供します。人気の高い講座を継続するほか、新講座を企画し、新規参加者とともにリピーターの方にも楽しんでいただけるような魅力ある講座を実施していきます。また、かもめ SCHOOL 講座予約システムについて、セキュリティ対策などを含む、サーバーのバージョンアップへの即時対応や整合がはかられるようにする必要がありますため、システムの改修等を行います。

< 参考 : 2019 年春学期講座内容 >

かもめスクール 講座名	
01 「都市デザイン」って何！？ ～ 汽車道・北仲エリア編～	09 メガロスルフレみなとみらいで「美活」体験！！ ・ハンモックエクササイズ体験 ・サーフエクササイズ体験
02 関内・関外の 350 年を探る ～ 吉田新田の開発と横浜開港～	10 CrossFit 体験講座
03 柳原良平が描いた横浜港巡り	11 曹洞宗大本山總持寺で参禅体験！
04 ラグビーワールドカップがやってくる！ 横浜ノーサイド・プロジェクト	12 有機栽培のフレッシュハーブティーでリラックス ～ みんなの庭で自分だけのオリジナルブレンドをつくろう～
05 三菱みなとみらい技術館で学ぶ！ ロケット打上げの技術に迫る	13 天空の茶室でお茶体験
06 折れないココロの作り方 ～メンタルヘルスマネジメント実践編～	14 「横浜にぎわい座」の落語会に行こう！ 落語の楽しみ方、お教えします！
07 横浜銀行特別プログラム「資産形成に役立つ制度を学ぶ」 iDeCo の必要性～長期化する老後に備える！ 誰でも簡単！つみたて NISA で始める資産運用	15 JAZZ Bar @横浜みなとみらいホール
08 体験して学ぶ！「株式会社ミツバチ」 ～ 莫大なハチミツをみつめる組織のヒミツ～	



< 2018 春 : 三菱みなとみらい技術館で学ぶ！  
世界に誇る日本のものづくり >



< 2018 年春 : 実際にハチミツを絞りながら学ぶ  
「株式会社ミツバチ」 >

---

**横浜都心電波対策事業****52,600 千円**

みなとみらい21地区および関連開発地区における建物建設に伴う周辺市街地のテレビ電波障害対策を実施するとともに、「横浜都心電波対策協議会」の事務局の運営を行います。

---

**電波障害対策事業の実施****48,100 千円****【 企画調整部 】**

建物建設に伴うテレビ電波障害対策として、電波障害シミュレーションを行うとともに、事前・中間・事後の実態調査（電波障害受信状況調査）を行い、障害エリアを特定し電波障害対策工事等を実施します。

- ・新規街区開発に伴う電波障害シミュレーション及び実態調査（電波障害受信状況調査）  
37街区、44街区、60.61街区の電波障害シミュレーション及び開発状況に応じた事前・中間・事後の実態調査
- ・新規街区開発等に伴う電波障害対策工事等  
54街区ほか

---

**横浜都心電波対策協議会負担金****4,500 千円****【 企画調整部 】**

「横浜都心電波対策協議会」の事務局運営経費として負担金を支出します。  
「協議会」の事務局運営として、新たな街区開発の案件が生じた場合は、開発者負担金を確定するとともに、その他、基本協定及び協議会の運営に関連して発生する事項に対応します。

広告・イベントスペース等の運用事業

70,000 千円

公有財産及び広告・イベントスペースの運用

70,000 千円

【 総務部 】

「クイーンズスクエア横浜 専有クイーンモール」等について、店舗や広告、イベントスペースとして貸し付け、快適で賑わいのある空間を創出するため、その利用権等を横浜市から借り受けます。「みなとみらいギャラリー」については利用者へのノウハウの提供や、円滑な貸し出しを行うため、その運営を外部へ委託します。

また、広告・イベントスペースの概要や活用事例等を紹介するパンフレットを活用し、引き続き利用率の向上に取り組みます。



< クイーンズサークルでのイベントの様子 >



< 広告・イベントスペースご利用ガイド >